

うめだ信利 かわら版2017春②

安全・安心なまち、便利で活気のあるまち、暮らして良かったと思えるまちづくり。

発行人 うめだ信利（葛飾区議会議員） 亀有3-27-1-301 電話03-5680-7709

umeda@umeda-nobutoshi.net http://umeda-nobutoshi.net 討議資料



豊洲市場だけではない、身近な立石北口の総合庁舎整備事業のブラックボックスにも注目してください。総合庁舎整備事業は、最初から、実質、整備費が一番高い立石駅北口地区の再開発ビルに移転ありきの結論で進められていたと疑わざるを得ない。葛飾区総合庁舎整備基本構想（平成26年10月）資料から

整備コスト	現庁舎敷地	青戸平和公園	立石駅北口地区
公表価格	③ 約240億円	① 約275億円	② 約264億円
公園移転関係費 (議会報告無し)		71億円(認可後は不要)	
③ は非公表価格	② 約240億円	③ 約204億円	① 約264億円

【平成29年度の予算についての主な意見】

総務費 総合庁舎整備事業は、以前の計画では、総事業費は**約518億円**、この内、区が買う保留床取得費は**約242億円**。東西棟を入替え後の総事業費は**約728億円**、区の取得費は未公表、区の負担が分からずに事業を進めるのはおかしい。都市計画決定は、区に慎重な対応を要望します。現新館約1万㎡の存廃は、早く結論を出し、庁舎移転先は見直すべきです。区の基本構想で整備コストは、**現庁舎約240億円、青戸平和公園約275億円、立石駅北口約264億円**と青戸が一番高い案としたが、都が都市公園の現庁舎跡地へ移転を認めれば、**公園移転関係費71億円**の計上は不要となり、差し引けば**青戸は約204億円**、一番安い案になります。71億円は庁内で公表後も区議会に一切報告されず、区は青戸が一番高く見せ、近隣に同じ規模の公園用地が必要と無理を言い続け、立石駅北口の結論ありきの議事運営と疑わざるを得ません。

なお、私は青戸平和公園がベストとは思っていませんが、立石駅北口地区の再開発ビルへ総合庁舎を移転させるよりはベターと考えます。**毎年100万円の補助金**を、区から受けている立石駅北口再開発準備組合は多くの資料を情報公開すべきです。

公共施設等経営基本方針素案は、各所管の力で骨抜きにされる恐れがあり、実際に、教育施設の改修では方針が活かされていません。

福祉費 学習支援事業の拡充は評価し、今後も、区教委と連携をより強めてほしいと要望します。1歳児への空きスペース活用の待機児童緊急対策事業に期待します。

都市整備費 公共交通網の検討調査を評価し、新金貨物線の旅客化に期待します。シェアサイクル&ライドを推進し、有人自転車駐車場等を利活用すべきです。

教育費 タブレットの環境整備に**約6億円超**もかけて、それでも学校外に持出しできないなら、タブレットを導入する意味がない。仕様とルールを見直すべきです。何十回も受けさせるチャレンジ検定は学力検定から、**表彰が目的の検定**になってしまった。原点に帰るべきです。また、中3の英語は、受験シーズンと重なり、受験生に大きな負担となりました。実施時期も再検討すべきです。

来年度の中学英語の習熟度別指導は、**10校**から**15校**に増えましたが、加配教員を否認された**2校**に習熟度別講師を区の予算で付けるべきです。文科省基準は英語教員の英語力を**英検準1級以上**としたが、この基準に達していない**31名**の英語教員へ早期支援を求めます。中学の修学旅行費は就学援助の6万円までとし、私学のように積極的に海外（観光庁も推奨）にも行ってほしい。

私が、東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課に確認したところ、現庁舎跡地へ都市公園の移転(620m)を前提に検討すれば、500m以上離れているが、公益上特別に必要な場合に該当するとして、青戸平和公園(都市公園)の廃止は、**法令上は十分可能**であるということでした。葛飾区は、直ぐに回答が得られる簡単な相談すら、なぜ、東京都にしなかったのか。青戸平和公園案は、当て馬物件だったのか？